

## NZドル／円(3/26) 弱気相場、ボリンジャーバンドの幅も拡大中



### コメント

先週の値動き＝続落。火・水曜日にやや戻すものの、週末にかけ72円を割り一段安の展開に。

今週の指標＝28日米FOMCが最大の注目。NZ関連では、27日に慢性的な赤字が続く貿易収支。30日に住宅建設許可が発表される。

テクニカル＝標準偏差の理論から言えば、 $-2\sigma$ から $+2\sigma$ までの間に96%のデータが入る。しかし、NZドル円は $-2\sigma$ を下抜けるほどの弱気相場に。

2週で5円以上も下落している中、 $-3\sigma$ は70.66円。ボリンジャーバンドの幅は広がっており、一段安の可能性もありそうだ。

### テクニカル・レート

ボリンジャー $+3\sigma$  = 88.56円  
 ボリンジャー $+2\sigma$  = 85.58円  
 26週移動平均線 = 79.61円  
 ボリンジャー $-2\sigma$  = 73.64円  
 ボリンジャー $+3\sigma$  = 70.66円

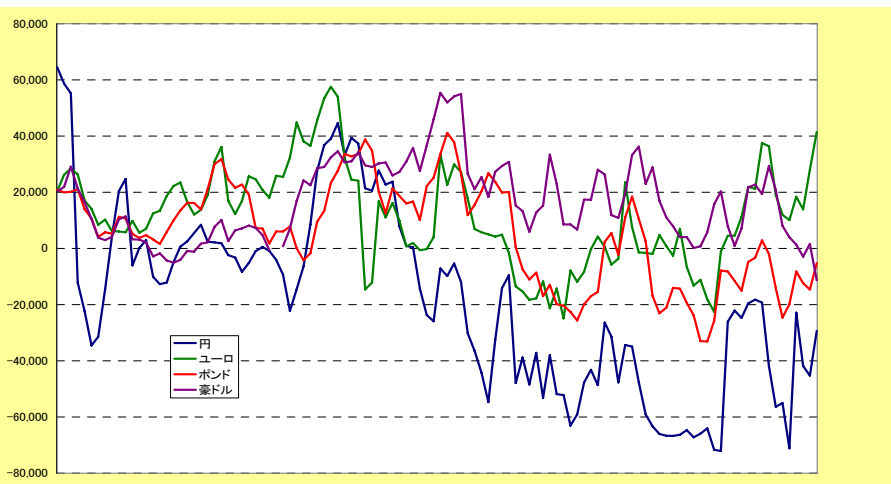
先週始値 = 73.71円  
 先週高値 = 73.76円  
 先週安値 = 71.34円  
 先週終値 = 71.41円

### 今週の投資例

トレンド＝下落  
 現在値＝71.41円  
 エントリー、指値、逆指値

買う技術 売る技術をご購入いただいた方は、今週は自分で考えてみてください

## 米FOMC=the big event ! ポジシヨンの的にはドル高の可能性も

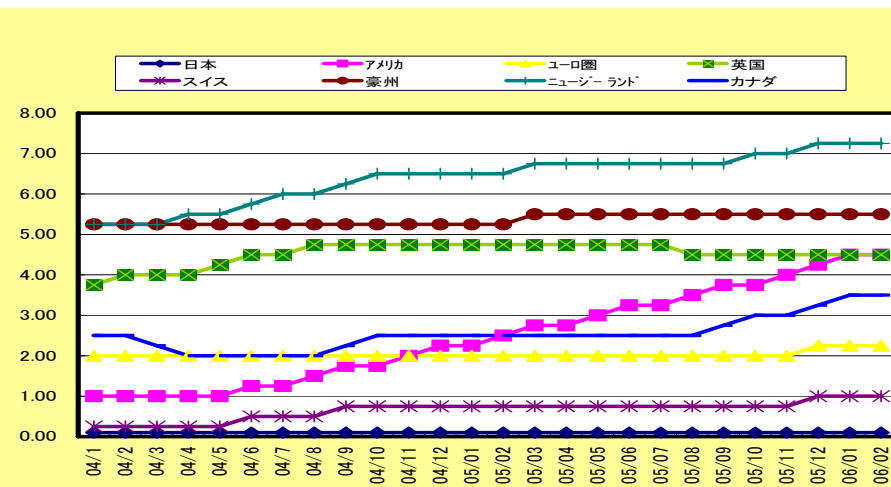


### IMM投機筋ポジション動向

3月21日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の売り持ちは約▲2.9万枚。先週から約+1.6万枚と円の売り越しが縮小した。

21日のドル円相場は117.23円。直近3月24日は117.43円とポジション動向に大きな変化はないか。

過去▲2万枚水準ではドル高への転換局面。3月決算期を受けての円買い、米FOMCと3月の材料を終え、ドル高局面になってもおかしくない。あるいは、ドル高相場の終焉か。。



### 各国金利動向

今週は28日火曜日に注目の米FOMCが開かれる。米GFT海外筋も「the big event for global markets」と伝えているため、海外でも、相当注目を集めていそうだ。

予想は、+25bp利上げされ、4.75%になる模様。バーナンキ新FRB議長による初めてのFOMC。次回5月に向けての、思惑も大きく相場に影響しそうだ。

28日の28:15=米FOMC。寝ているだろうが、今後の為替相場を見るうえで、重要なことには間違いないようだ。